

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携 直接の取引先にとどまらず、その先の事業者を含めたサ
- b. 取引先との情報共有において IT ツールを積極的に活用し、サプライチェーン全体の業務効率化と共存共栄を推進します。IT 実装支援（共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）
- c. 健康経営に関する取組 取引先との持続的な協力体制を築く基盤として、健康経営の重要性を共有します。自社で蓄積した健康増進に関するノウハウの提供などを通じて、サプライチェーン全体での心身ともに健康で活力ある職場づくりを支援します。
- d. BCP(事業継続計画)に関する取組 災害や緊急事態が発生した際にも供給体制を維持できるよう、取引先と連携した BCP(事業継続計画)の構築に努めます。具体的には、取引先への災害対策に関する情報共有体制の事前整備を行い、有事の際にも互いに助け合い、事業を早期復旧・継続できる強靱なサプライチェーンを目指します。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

① 価格決定方法の適正化（透明性の重視）

- ・ 付加価値の正当評価： 単なるコスト積み上げ方式ではなく、パートナーの技術力や納期対応力などの「付加価値」を正當に評価し、双方が持続可能な価格決定を行います。
- ・ 対等かつオープンでフラットな協議： 労務費、原材料費、エネルギー価格の変動時には、経営層同士がデータに基づき透明性を持って協議する場を設け、不当な据え置きを一切行いません。

② 支払い条件の最適化（パートナーの資金繰りへの配慮）

- ・ 現金 100%・迅速決済： 振興基準を上回る「受領から 30 日以内の現金支払い」を原則とする事により、パートナーのキャッシュフローを最大化し、共に次なる技術投資へ向かえる環境を整えます。

③ 知的財産の保護と知見の共有（公正な技術競争）

・ ノウハウの尊重と保護： パートナーの技術（知的財産）を無償で開示・提供させることはしません。共同開発時には成果の帰属を明確にした契約を締結し、互いの技術的優位性を遵守します。

④ 適正なリードタイムの確保

・ 「短納期」の科学的削減： 現場を知る経営者として、無理な短納期発注が現場の疲弊と品質リスクを招くことを深く理解しています。ゆとりを持った発注と迅速な情報共有により、サプライチェーン全体の残業削減とワークライフバランス向上に貢献します。

3. その他（任意記載）

2026年1月28日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

手島精管 株式会社

企 業 名

代表取締役 手島 由紀子

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・ 本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・ 主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。